

第 1 2 章 苦情处理

1. 苦情件数の種類別推移

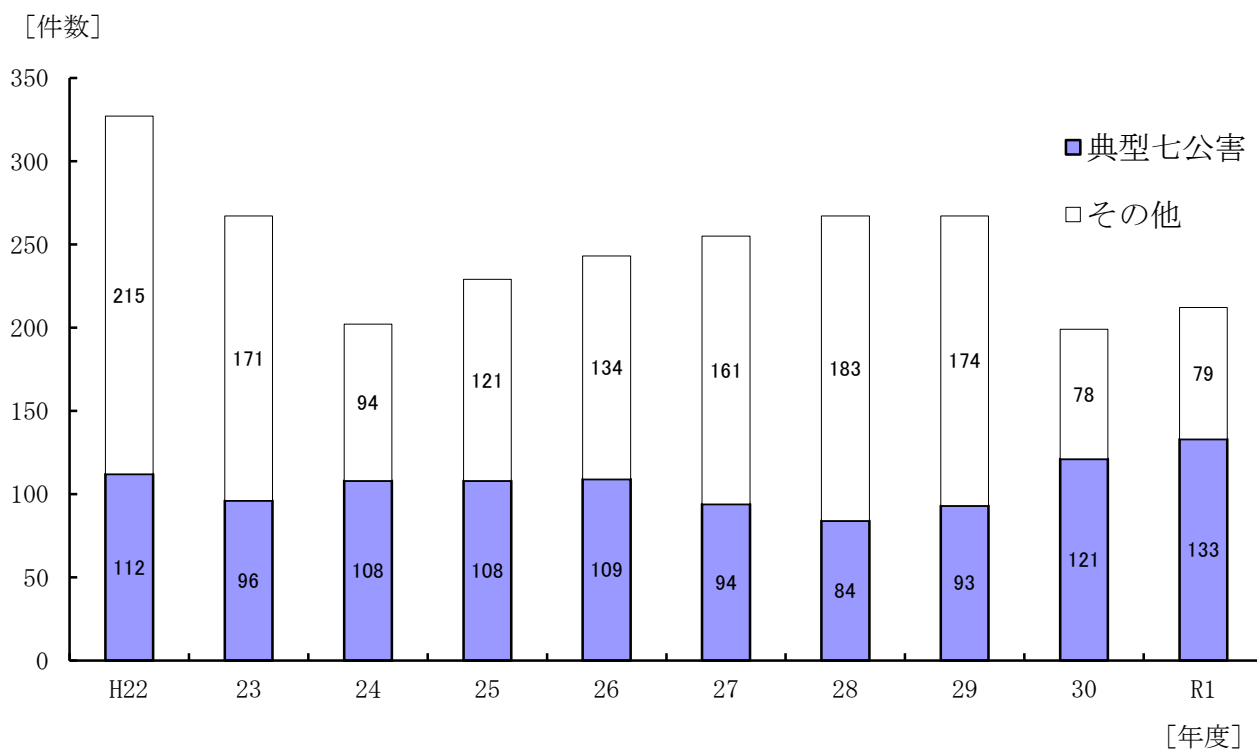
令和元年度に本市に寄せられた公害に関する苦情件数は212件で、年度別公害苦情件数の推移は下表のとおりである。

典型7公害の苦情件数は、前年度に比べ12件増加した。一方、廃棄物の不法投棄や雑草の繁茂に関するものなどの典型7公害以外の苦情件数は、昨年度と同程度であった。

種別		年度									
		H22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1
典型七公害	大気汚染	70	56	61	63	50	58	41	59	53	79
	水質汚濁	13	9	13	20	14	18	11	9	31	16
	土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	騒音	14	17	18	12	21	12	18	18	22	20
	振動	2	0	2	1	0	0	1	1	1	2
	悪臭	13	14	14	12	24	6	13	6	14	16
計		112	96	108	108	109	94	84	93	121	133
その他		215	171	94	121	134	161	183	174	78	79
合計		327	267	202	229	243	255	267	267	199	212

(備考) 地盤沈下に関する苦情は、近年申し立てられていない。

【苦情件数の推移】

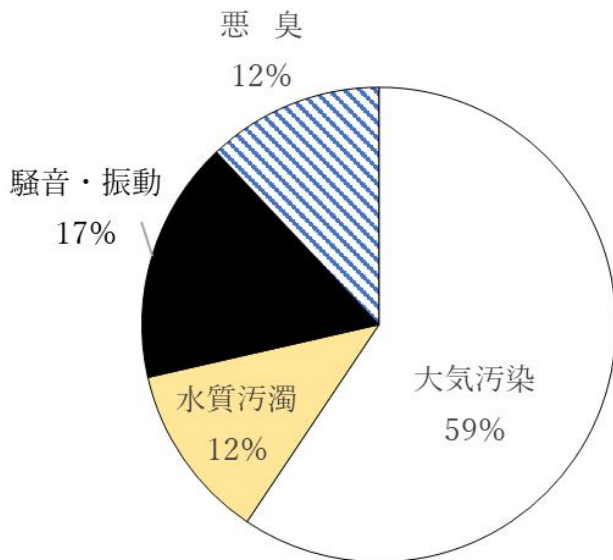


2. 苦情件数の種類別構成

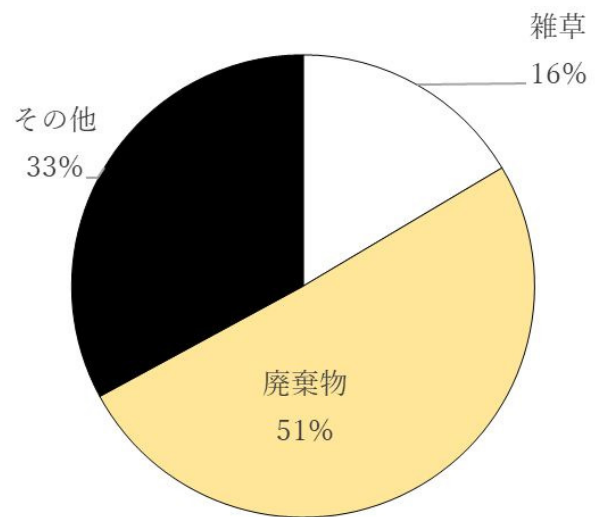
公害苦情は、典型7公害と呼ばれるものと、それ以外に大別できる。

令和元年度に寄せられた苦情のうち、典型7公害とそれ以外の内訳をそれぞれグラフに示した。典型7公害のうち59%が大気汚染に関するものであり、典型7公害以外では51%が廃棄物に関するものであった。

[典型7公害] 133件



[典型7公害以外] 79件



【苦情件数の種別構成】

発生源 種類別		農	漁	鉱	建	製	電	運	卸	サ	公	その他							合 計	
		業	業	業	業	業	気・ガス・水道業	輸・通信業	売・小売業・飲食業	業	務	公	家庭	事	道	空	神	そ		不
		業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	園	生活	務	路	地	社・寺院等	の	明	
典型七公害	大気汚染	20			4	5	1			6			38					3	2	79
	水質汚濁	1				2				2			2						9	16
	騒音振動	0			2	6		1	1	8			1					3		22
	悪臭	1				4				4			4					3		16
	小計	22	0	0	6	17	1	1	1	20	0	0	45	0	0	0	0	9	11	133
七公害以外	雑草												12					1		13
	廃棄物	1			1					1			29					8		40
	その他							2	1	2	1		2	6	1	2		6	3	26
	小計	1	0	0	1	0	0	2	1	3	1	0	43	6	1	2	0	15	3	79
合計		23	0	0	7	17	1	3	2	23	1	0	88	6	1	2	0	24	14	212

3. 典型7公害に係る月別受理件数

令和元年度の典型7公害の苦情件数は、平成30年度より12件増加した。

内訳をみると、大気汚染に関する苦情の中では、一般家庭での野焼きに関する苦情が多く寄せられており、ごみの適正処理に対する意識の欠如等が主な要因と考えられる。

また水質汚濁に関する苦情では、油の漏洩・流出に関するものが多かった。

典型7公害苦情月別受理件数（令和元年度）

種類 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
大気汚染	7	6	7	2		6	14	8	4	6	13	6	79
水質汚濁		3	1	5		1		3	2	1			16
騒音振動	3	1	3	2		5	4	1	2		1		22
悪臭	3	3	4	1			2		1		2		16
合計	13	13	15	10	0	12	20	12	9	7	16	6	133

※令和元年度は、土壌汚染及び地盤沈下に関する苦情はなかった。

[件数]

